上條奨学賞　令和３年度は９名が選ばれる

上條奨学賞は、1953年に上條秀介学長（当時）が還暦のおりに寄附した上條奨学基金の果実により、学術上有益な研究業績を挙げた人、教育実践上の功績を挙げた人にそれぞれ贈られる。上條奨学資金委員会は各学部からの推薦に基づき、次の９名を今年度の受賞者に決定した。

研究業績部門

医学部　生理学講座　生体調節機能学部門　講師　本間　元康

「神経疾患における認知機能障害の解明」

この度は大変名誉ある上條奨学賞を賜り光栄に存じます。私は心理学分野出身ですが、泉崎雅彦教授のご指導のもと、心理学と医学の垣根を超えた学際的研究に従事しております。

これまで健常者の認知機能について研究してきましたが、昭和大学においては脳神経内科の先生方との共同研究に恵まれ、特にパーキンソン病における認知機能の解明に取り組んできました。パーキンソン病の主症状は運動障害ですが、認知機能にも様々な障害が発症することが分かってきております。そのような中、感覚間統合機能の障害という新たな認知機能障害を報告しました。

未知の認知機能障害の発見やそのメカニズムの解明が患者さんの治療やリハビリテーションに結び付くと信じ、学際性の視点を持って医療に貢献して参りたいと思います。

歯学部　口腔生理学講座　講師　中山　希世美

「咀嚼・嚥下運動の形成および調節に関与する神経機構の解明」

このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り大変光栄に存じます。ご指導いただきました井上富雄教授をはじめとする口腔生理学講座の先生方、一緒に実験をして下さった大学院生の皆様にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

私は、これまで咀嚼・嚥下の神経メカニズムの解明に取り組んでまいりました。その過程で、顎舌の協調運動を司る神経機構、脳内アミンによる顎運動の調節機構、嚥下反射を増強する薬剤の同定と作用メカニズムなどについて解明し、報告してきました。咀嚼・嚥下は、生命維持の根幹となる重要な機能であるにも関わらず、その礎となる神経機構には未解明の部分が多く存在しております。今後もこの分野の研究を継続し、医療の発展に少しでも貢献したいと思います。

薬学部　基礎薬学講座　生物化学部門　准教授　小濵　孝士

「酸化変性リポタンパク質と好中球細胞外トラップ形成の炎症惹起性に関する研究」

このたびは栄誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ご指導いただきました板部洋之教授をはじめ、生物化学部門の先生方や学生の皆さん、学内外の先生方のご協力とご支援に心より御礼申し上げます。

好中球細胞外トラップ（NETs）は、活性化した好中球が自身のDNAを投網のように細胞外へ放出し、病原細菌を絡めとる感染防御反応として発見されました。一方でNETsは感染を伴わない疾患でも生じ、組織傷害性が強く様々な疾患の形成要因にもなります。本研究では酸化変性リポタンパク質がNETs形成を促進し、血管内皮細胞の形態変化と炎症を相乗的に増悪することを見出しました。脂質代謝異常における血管疾患発症の理解に繋がる知見を発信できるよう、今後も詳細な解析を進めていく所存です。

保健医療学部　看護学科　准教授　村田　加奈子

「地域に住む高齢者のフレイルに関連する要因の検討」

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究の発展にお力添えくださいました下司映一保健医療学部長と田中一正特任教授をはじめ、ご協力を賜りました関係各位の皆様に心より感謝申し上げます。

２０００年に介護保険制度が始まり、しばらくして地域で暮らす高齢者の要介護度の変遷を分析しました。その結果、初回認定で要支援とされた人の四割に1年後要介護への悪化がみられました。そこから要介護状態になる前の介護予防に貢献したいと考え、フレイルに着目して研究を進めて参りました。本研究では、ソーシャルキャピタルが地域参加を促進し、フレイルを予防する可能性のあることを報告しました。

今後はさらにCOVID-19による自粛生活とフレイルの関係についても研究を進め、研究成果を広く公表して健康寿命の延伸に貢献したいと思います。

教育功績部門

医学部　耳鼻咽喉科学講座　教授　小林　一女

「臨床実習教育の充実とOSCEの適正な実施体制の構築」

この度令和3年度、昭和大学上條奨学賞（教育功績部門）を賜りました。大変名誉なことで光栄に存じます。誠にありがとうございました。これまでご指導を賜りました高木康名誉教授、多大なご支援をいただいている医学教育学講座の先生方、学事部学務課の皆様へ心より感謝申し上げます。OSCEは臨床実習前に行われる共用試験OSCEと臨床実習後に行われるPCC-OSCEがあります。両OSCEはその後の臨床研修へ結ぶ客観的な診察能力の大切な評価となります。現状では評価者の評価の標準化、試験会場の環境整備の問題などがあります。まだコロナ禍でもありますが、安全に厳正に試験が行われるように今後も関係各位と協力して行っていく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

歯学部　口腔病態診断科学講座　歯科放射線医学部門　教授　荒木　和之

「共用試験CBTに対する教育の向上」

このたびは栄誉ある上条奨学賞をいただき誠に光栄に存じます。

私は10年以上にわたり共用試験CBTに携わってきました。歯学部CBTでは歯科学全般についての知識が問われます。全ての講座・部門の先生方のご協力をいただき学生がそれまでの総復習ができるカリキュラムの構築をめざしてきました。また、CBT作問ワークショップも開催しました。ワークショップを通じ先生方がCBTにおける良問とは何かを理解するお手伝いをし、またそれを学生の教育にフィードバックしていただけるような環境作りに参画しました。

このような経緯で、今回の受賞は歯学部の全ての先生方のご協力によるものと感謝し、これからも教育の更なる向上にむけ精励する所存です。

薬学部　社会健康薬学講座　医薬品評価薬学部門　准教授　亀井　大輔

「チーム医療を担い、対人援助職としての薬剤師養成を指向した新しい教育プログラムの構築」

このたびは栄誉ある上條奨学賞を賜り大変光栄に存じます。この受賞は、これまでご指導を頂きました中村明弘薬学部長、木内祐二副学長をはじめ、薬学部での症候学やフィジカルアセスメントの教育に対して、ご理解とご協力を頂きました先生方のお力添えによるものであり、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

チーム医療を担う薬剤師が対人援助職として活躍するためには、薬剤師自らが患者状態を把握し評価できる資質の醸成が重要となります。今回、症候学の基礎的な考え方の修得と情報収集のためのフィジカルアセスメントを結びつけたシミュレーション演習を構築し実践しました。今後も昭和大学のチーム医療教育及び薬学教育の発展に一層精進する所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

保健医療学部　作業療法学科　教授　志水　宏行

「本学附属病院における作業療法学科臨床実習体制の構築」

このたびは栄誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄であり厚く御礼申し上げます。

今回の受賞は、前学科主任の故・山口芳文客員教授のご尽力と、下司映一保健医療学部長をはじめとする学部の皆様、作業療法学科教員・臨床教員の皆様、そして統括リハビリテーション室および附属病院作業療法士の皆様のご理解とご協力のおかげであり心より感謝申し上げます。

２０１６年度に各学年に配当されている臨床実習のすべてを本学附属病院で実施することを開始し、シームレスな養成体制を構築してきております。これは我が国の作業療法士養成課程では他に例が無く、本学の優れた臨床体制に依るところが大きいと思われます。

今後も昭和大学の建学の理念に根ざした作業療法士教育の発展に邁進する所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

富士吉田教育部　教授　平井　康昭

「富士吉田医薬資源園を活用した教育への取り組み」

このたびは上條秀介先生ゆかりの上條奨学賞を賜り、誠に光栄に存じます。この賞をいただけましたのも、富士吉田校舎の皆様のご理解とご支援によるものと感謝しております。

私は本学薬学部を卒業後大学院に進学し、修了後、薬学部の「生薬学・植物薬品化学教室」に入職しました。それ以来、薬用植物から成分を単離し、構造を解明する研究を行いました。その後、富士吉田教育部に異動したのを機に、医療の場で薬用植物に関する知識をコミュニケーションツールとして使ってもらいたいという思いから選択科目「薬用植物の科学」を開講させていただきました。今回の受賞は、私が取り組んできた試みに対するご褒美と思い、とても嬉しく感じております。

昭和大学上條記念ミュージアム　ホームページが全面リニューアル

昭和大学上條記念ミュージアムのホームページがリニューアルされ、スムーズな見学予約が可能に！
企画展 学生クラブの歴史紹介 現在公開中。
皆様のご来館をお待ちしております。

開館日　火曜日・金曜日 午後１時～午後３時

※団体申込みの場合、見学時間は別途ご相談ください。
※上條記念館でのイベント開催時に、ミュージアムオープンを希望される団体は、ご相談ください。

お問合せ：03-3784-8031
Email：museum@ofc.showa-u.ac.jp